

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教育実習〔高等学校〕(Teaching Practice)		
ナンバリングコード	K40801	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 総合レベル
単位数	3	配当学年 / 開講期	3年 / 通年(後期前期)
必修・選択区分	教職関係科目(必修):高等学校教諭一種免許状 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K000552	クラス名	経営経済学部
担当教員名	斉藤 雄次、姫野 秀樹		
履修上の注意、履修条件	教育実習では、実習校において教育実習生として勤務し、教員の職務の一部を担当し、実際に教師として学習指導や生徒指導等を行います。これは、生徒の成長・人格形成に大きな影響を及ぼします。したがって、教育実習に参加するにあたって、この授業でしっかりと学んで周到に準備し、実習後は実習報告会を通じて振り返り活動を行い、教師の使命を再確認してください。そのため、毎回の授業に必ず出席すること。無断の欠席、遅刻等は厳禁です。		
教科書	宮崎猛・小泉博明編『教育実習完璧ガイド』、小学館、2015年。		
参考文献及び指定図書	高野和子・岩田康之編『教育実習』、学文社、2010年。 教育実習を考える会編『新編 教育実習の常識』、蒼丘書林、2000年。		
関連科目	教職課程における全ての授業		

○基本情報			
授業の目的	この授業の目的は、必要な能力を養った上で、教育実習に参加し、そこで得た経験を反省し、今後の課題を見いだすことです。		
授業の概要	3年次後期は事前指導、4年次前期は事前指導と事後指導を行います。 事前指導では、教育実習の意義や教育実習の心得を学びます。また、教育実習の要である「授業実習」がより充実したものとなるよう、実際の授業に近い形の模擬授業を、学習指導案を作成したうえでを行います。 事後指導は、教育実習後に、その経験を振り返り、深化します。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」	
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目		
実務経験のある教員による授業科目	[斉藤雄次]福井県内の公立高等学校で地理歴史科・公民科教諭として9年間勤務。教員としての実務経験の中で培った、学校現場のさまざまな活動に関する知識や視点を本講義では提供する。 [姫野秀樹]大分県公立高等学校、教育委員会で38年間勤務。その間、普通科高校(19年間)における毎年の教育実習生の指導をはじめ、教育委員会(人事・指導課担当)において教員に求められるスキル等を策定し学校現場へ指導助言、さらには管理職として所属教員の教科(生徒)指導力の向上に関わった経験がある。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	事前指導・教育現場での実習・事後指導を通じて、教職に対する使命感を抱いたり、他者の教育実習報告をもとに、使命感を再確認することができる。		20点	10点
【知識・理解】	事前指導・教育現場での実習・事後指導を通じて、教育実習生として行動するために必要な知識を修得できている。		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	授業を円滑に行う技能を修得するとともに、他者の授業を観察し、自身の今後の課題について表現することができる。生徒とのコミュニケーションを適切に行うことができる。		20点	10点
【思考・判断・創造】	学習指導案や教育実習日誌の完成に向けて必要な情報を判断し、取捨選択した上で、適切な指導案や日誌を作成することができる。		15点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<p>授業の参加状況、模擬授業の内容、「教育実習日誌」の記載内容、教育実習の報告内容、実習校で出された評価内容、レポート等により、成績を評価します。また、「教育実習日誌」は卒業式後の教員免許状授与時に返却します。</p> <p>教育実習は、教育実習校での実習が2単位、大学での事前事後の授業が1単位の合計3単位です。教育実習校はもちろん、大学の授業も必ず出席する必要があります。やむなく欠席や遅刻等になる場合は、いずれも事前の連絡をしてください。無断の遅刻、欠席等は厳禁です。</p> <p>また課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。</p>	

○その他	
<p>3年教職ガイダンス時に配布される「(学生用)教育実習ガイド」も、本授業においては活用します。</p> <p>なおこの授業は、教育実習に行くための「事前指導」と「事後指導」にあたる科目です。すなわち授業の欠席は、教育実習に行くための準備の不足、また経験の深化に向けた振り返りの不足を意味します。そのため、授業を欠席した場合、理由の如何を問わず補講を必ず実施します。課題で代替などの措置は一切とりません。毎回の出席を当たり前にご確認ください。</p>	

2024年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	教育実習[高等学校] (Teaching Practice)	授業コード	K000552
	担当教員	斉藤 雄次、姫野 秀樹		
学修内容				
1. ガイダンス 授業の進め方、教育実習の役割、教育実習の予定等についての説明を聞き、教育実習の概要について理解します。				
	予習	これまでの教職課程で学んだ内容を整理してください。		(約2.0h)
	復習	「(学生用)教育実習ガイド」を読んでください。		(約2.0h)
2. 教育実習の心得 授業参観の着眼点、授業実習の視点(発問等、板書、指名、ノート指導、情報機器、学習プリントなど)、授業実習後の反省の際の着眼点等について学びます。				
	予習	教科書のSTEP3および4を読んでください。		(約2.0h)
	復習	「(学生用)教育実習ガイド」を読んでください。		(約2.0h)
3. 教育実習の心得 学校生活は生徒にとってかけがえのないものであることをふまえて、教科指導や学級担任業務を担う者としての責任を含めた、実習生として心得ねばならない基本的事項について学びます。				
	予習	教科書のSTEP1を読んでください。		(約2.0h)
	復習	「(学生用)教育実習ガイド」を読んでください。		(約2.0h)
4. 教育実習の心得 礼儀やマナーを含め、教員としての使命感をいだき、守秘義務を守り、信用失墜行為を防止するために必要な事項等を学びます。				
	予習	教科書のSTEP2を読んでください。		(約2.0h)
	復習	「(学生用)教育実習ガイド」を読んでください。		(約2.0h)
5. 教育実習の心得 実際の教育実習日誌をもとに、実習の毎日の証となる教育実習日誌の意義・記入方法・活用の仕方について学びます。				
	予習	教科書のSTEP5を読んでください。		(約2.0h)
	復習	「(学生用)教育実習ガイド」を読んでください。		(約2.0h)
6. 教育実習報告会 教育実習を経験した4年生から教育実習報告を聞き、観察(見学)、参加、授業実習についてのイメージを具体化します。				
	予習	4年生に質問したい内容を整理してください。		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
7. 教育実習の心得 授業実習の集大成である研究授業の注意点や、学習指導案の作り方、お礼文の書き方、教育実習報告書の書き方など、実習終盤から実習後にかけての対応について学びます。また、次回以降の模擬授業演習に向けた準備を行います。				
	予習	4年生や既卒生の学習指導案を分析してください。教科書のSTEP4を読んでください。		(約2.0h)
	復習	「(学生用)教育実習ガイド」を読んでください。		(約2.0h)
8. 模擬授業演習 学習指導案を配布したうえで、模擬授業を行います。それを参加者で批評します。				
	予習	学習指導案や授業に必要な資料を作成してください。教科書のSTEP3および4を読んでください。		(約2.0h)
	復習	模擬授業の反省をまとめて提出してください。		(約2.0h)

○授業計画	科目名	教育実習[高等学校] (Teaching Practice)	授業コード	K000552
	担当教員	斉藤 雄次、姫野 秀樹		
学修内容				
9. 模擬授業演習 学習指導案を配布したうえで、模擬授業を行います。それを参加者で批評します。				
	予習	学習指導案や授業に必要な資料を作成してください。教科書のSTEP3および4を読んでください。		(約2.0h)
	復習	模擬授業の反省をまとめて提出してください。		(約2.0h)
10. 模擬授業演習 学習指導案を配布したうえで、模擬授業を行います。それを参加者で批評します。				
	予習	学習指導案や授業に必要な資料を作成してください。教科書のSTEP3および4を読んでください。		(約2.0h)
	復習	模擬授業の反省をまとめて提出してください。		(約2.0h)
11. 模擬授業演習 学習指導案を配布したうえで、模擬授業を行います。それを参加者で批評します。				
	予習	学習指導案や授業に必要な資料を作成してください。教科書のSTEP3および4を読んでください。		(約2.0h)
	復習	模擬授業の反省をまとめて提出してください。		(約2.0h)
12. 教育実習の心得 観察(見学)、参加、授業実習をする上での注意事項の確認や、実習校に提出する書類の記入・確認を行い、教育実習に向けた最終確認をします。				
	予習	実習校に提出する書類の下書きをしてください。		(約2.0h)
	復習	「教育実習実施要項」を読んでください。		(約2.0h)
13. 教育実習報告会 教育実習の報告・反省を行い、大学で学んだ内容の理解を深め、今後の課題を見いだします。				
	予習	教育実習の反省をまとめてください。(教育実習報告書をユニバ等に提出する)		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
14. 教育実習報告会 教育実習の報告・反省を行い、大学で学んだ内容の理解を深め、今後の課題を見いだします。				
	予習	教育実習の反省をまとめてください。(教育実習報告書をユニバ等に提出する)		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
15. 教育実習報告会 教育実習の報告・反省を行い、大学で学んだ内容の理解を深め、今後の課題を見いだします。				
	予習	教育実習の反省をまとめてください。(教育実習報告書をユニバ等に提出する)		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
16.				
	予習			
	復習			